

芳賀町の民話④ 延生のお地藏さま

むかしむかしのことです。ある帝のお后がご懐妊なさいました。ところが、お産の予定日を過ぎててもいつこうに生まれる気配がありません。それからひと月たつても赤ちゃんは産まれませんのでした。

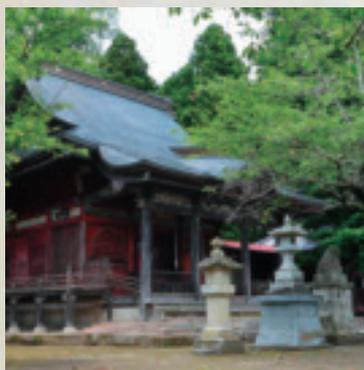
帝は大変心配し、あつちこつちのお寺にお祈りをさせました。しかし、いつまでたつてもお産は始まりません。

ある夜、帝の夢に立派なお坊さんが現れて言いました。「安産は地藏菩薩の大きな願いです。地藏菩薩にひたすら願いなさい」と。夢から覚めると、帝はひたすら地藏菩薩を拝みました。すると、いく日もたないうちに安産で男の子が産まれました。

帝は、願いがかなったお礼として、新しく地藏菩薩像を作らせ、立派なお寺を建てて安置しました。産み月が延びても安産だったので、この地を「延生」と名づけ、男の子が生まれて帝がますます繁栄していくきっかけになったことを受けて「王城繁興なり」として、寺の名前を「城興寺」と名づけました。これが今の下延生にある延生山城興寺の由来です。

城興寺には、県内はもとより、県外

からも子授・安産・子育てのご利益を願う参詣客が絶えません。毎月24日の日の出と同時に、本尊の地藏菩薩のご開帳が行われます。また毎年8月23日には、延生地藏尊の夜祭りとして盆踊り大会が開催され、翌日の8月24日のみ、日の出と正午の2回開帳されます。



▲地藏菩薩像が安置されているお堂



▲城興寺の位置

しまたかしの 芳賀の自然

51



ウチワヤンマ

トンボ目クルマヤンマ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会 撮影場所:町内

分布=岩手県以南～九州
 生息地=平地や丘陵地の水田など
 時期=5～9月
 大きさ=全長70～76mm(後羽長さ45～50mm)
 特徴=雌雄とも腹部の先の方(第8節)にうちわ状の突起物をもつ。雄は雌を見つけるとすぐに交尾し、水辺の産卵場所に移動する。産卵中は上空を警戒しながら飛び回る。羽化後は水辺より林間に移動するが成熟すると戻る。

編集後記

広報はが7月号

□地域の話題や町からのお知らせをわかりやすくお伝えできるよう、少しずつですが、内容や紙面を工夫して作っています。

□取材には、芳賀チャンネルのテレビカメラが同行するとありますが、ご協力ください。そして、芳賀チャンネルも見てくださいね。(山本)



▲祖母井神社夏祭り

- ◎編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6099 ✉jouchoukouhou@town.haga.tochigi.jp
- ◎発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- ◎芳賀町ホームページアドレス
<http://www.town.haga.tochigi.jp>
- ◎芳賀町の携帯サイトはコチラから➡



この印刷物は、EPAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。EPA：環境保護印刷推進協議会 <http://www.e3pa.com>